

区幼研って、なあに？



「江東区立幼稚園教育研究会」のことです。

江東区立幼稚園教育研究会って、なあに？



江東区立幼稚園に勤めている先生たちが
1か月に1度集まって研究をしている会です。

どのような研究をしているの？



「これからの時代をたくましく生きる江東のこどもたち」を育むために、教師が3つの部会に分かれて学んでいます。日々の実践を持ち寄って話し合ったり、講師を招いて研究保育を行ったり、江東区小学校教育研究会(小学校の先生方の研究会)の研究授業や協議会、講演会に参加したりして学んでいます。

また、部会での研究の他に、実技研修会、講演会でも多様なテーマで学んでいます。

3つの部会ではどのようなことを学んでいるの？



各部会のテーマについて、3年間をかけて研究を深めています。

3つの部会のテーマとは？

第1部会「夢中になって遊ぶ幼児を育む」

こどもたちが夢中になって遊ぶ中には、様々な学びがちりばめられています。

第1部会では、こどもたちが遊んでいる写真を持ち寄り、「夢中」というキーワードに焦点を当てて話し合ったり、江東区小学校教育研究会「生活・総合」部会の研究授業を見学し、小学校の先生方と協議を行ったりして学びを深めています。



第2部会「幼児の『やってみたい』『もっとやりたい』を 引き出す環境の工夫」 ～主体的に環境に関わり、遊び込む幼児を育むために～

幼稚園は環境による教育を行っています。

第2部会では各幼稚園を訪問して実際に環境を見合ったり、写真を活用して実践したことを振り返ったりしています。また、江東区小学校教育研究会「図工」部会の研究授業・協議会・講演会に参加し、研究を進めています。



第3部会「一人一人の気持ちに寄り添った援助について」 ～安心して自分を出し、ともに育ち合う幼児を目指して～

私たち教師は、こどもたちが幼稚園で安心して自分を表し、伸び伸びと遊びや生活ができるように支えていきたいと考えています。第3部会では話し合うだけではなく、ロールプレイや講演会を通して「一人一人の気持ちに寄り添うとはどういうことなのか」「教師が一人一人に寄り添うことでどのようなこどもに育ててほしいのか」などを探っています。



このように、江東区立幼稚園の「質の高い幼児教育」を実践するために、教師自身も学び続けています。

今後も江東区立幼稚園教育研究会の活動や、研究を通して教師が学んだことなどについて、各園のホームページのメニューボタン「江東区立幼稚園教育研究会」にて発信していきますので、楽しみにしててください。

